

学習会

女性と年金制度

★★★ 知っておきたい年金制度の基礎知識 ★★★

2007年5月の国会では「消えた年金記録」の問題で、老いも若きも国民すべてが年金にとっても関心が高まりました。その後改革が実施され、2010年1月、社会保険庁が廃止され、日本年金機構が発足しました。

年金の仕組みは1階部分と2階部分から成り立っています。1階部分に相当する国民年金（受給時には「老齢基礎年金」と呼ばれます）は、65歳からの支給です。2階部分に相当する厚生年金、共済年金については、従来は60歳からもらえていましたが、大きく条件が変わってきています。老後の支えになる年金制度、現在の年金制度をしっかりと学ぶための学習会を昨年引き続いて企画しました。

この機会にしくみや制度についてご一緒に学習しましょう！

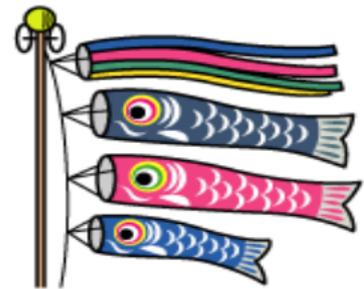
日時： 5月24日（月）昼休み12:00～12:45

講師： 茶谷 十来也さん（年金問題専門家）

場所： 組合事務所 お弁当を準備します。
組合員は無料、未組合員の方は500円

申込期限：5月20日（木）[内線2105、直通262-6009]

職場のみなさん！！ どうぞ誘い合って、ぜひ、きて下さい。



4月15日女性部学習会

「子どもの貧困と社会的排除」に参加して

4月に長女が小学校に入学したことをきっかけに、今子どもの周りを取り巻く環境（学校や家庭）などは、自分が子どもの時とどのように変わってきているのだろうと以前にもまして思うようになっていました。

今回の学習会に参加し、講師の松田洋介先生のお話を伺うと、自分が漠然と思い描いていた状況と現実との違いに驚きました。

子どもがいる世帯の7分の1の割合が貧困世帯だということや、少子化の為に児童・生徒数が減少しているにもかかわらず、就学援助受給者の数は増加しているということ。

小・中学校は義務教育だから、お金はそんなにかからないとは言うけれど、入学準備や諸経費など実

際にはなにかとお金がかかってくる。

そして、その事が負担になる家庭があり結果として義務教育自体を十分に受けることができない子どもがいる現実。

また、不登校や高校の退学などについての原因が貧困によるものが多いということなどは、かなり自分は誤解しており目からうろこが落ちるようでした。

講師の松田先生は、低所得の家庭にもリサーチに足を運ばれているそうで、その時のことなどもお話しされていたのですが、そこから見えてくるのは先の見えない不安感でした。

未来を担う子どもたちの為には教育の充実だけではなく、もっと根本から見直していかなければいけない時期に来ているのではないのかと考えさせられた学習会でした。

（総合メディア基盤センター
大井 恵子）

